

数理データ科学教育研究センター講演会

『AI時代の内視鏡診断最前線』

令和6年 3月1日 金 14:30~17:10

開催方法

対面及びオンライン(Zoom)
会場：群馬大学昭和キャンパス刀城会館

※受付は会場・オンラインともに14:00~

対象者

一般、教職員及び学生

プログラム

司会：数理データ科学教育研究センター 鈴木 裕之

講演1：「進化し続ける消化器内視鏡診断」

浦岡 俊夫 氏

(群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学 教授)

2006年岡山大学医学博士取得。2012年慶應義塾大学医学部講師、2014年独立行政法人国立病院機構 東京医療センター医長を経て、2018年より群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学教授。大腸の内視鏡的粘膜下層剥離術(E S D)など、低侵襲内視鏡治療の第一人者として豊富な治療実績をもち、臨床研究にも積極的に取り組んでいる。



講演2：「NBI (Narrow Band Imaging) 内視鏡の誕生から社会実装までの道のり」

後野 和弘 氏

(オリンパス株式会社 先進技術開発・グローバルヘッド/
シニアバイスプレジデント)

1992年に千葉大学修士課程を経て同年オリンパスに入社。その後、内視鏡画像処理、消化器内視鏡、外科、泌尿器分野における新技術開発、NBI開発等に従事。2003年生体光学の研究で博士号取得(東京工業大学)。内閣総理大臣発明賞(2011年)、文部科学大臣表彰(2016年)、紫綬褒章(2017年)。現在は先進技術開発のグローバルヘッドとしてイノベーション戦略の推進を担当。また、東北大学特任教授としてイノベーション活動を指導。



パネル討論：「AI時代の内視鏡診断と将来展望」

コーディネータ：鈴木 裕之 (群馬大学数理データ科学教育研究センター 教授)
パネリスト：浦岡 俊夫 氏 (群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学 教授)
パネリスト：後野 和弘 氏 (オリンパス株式会社 先進技術開発・グローバルヘッド/
シニアバイスプレジデント)

参加無料

お申し込みはこちら ⇒

URL : <https://forms.gle/GZsB3raMoiMmWtLn8>



【お問合せ】

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
国立大学法人群馬大学
研究推進部産学連携推進課 荒牧センター事務室
☎ : 027-220-7633
✉ : suuri-c@ml.gunma-u.ac.jp

主催：群馬大学数理データ科学教育研究センター